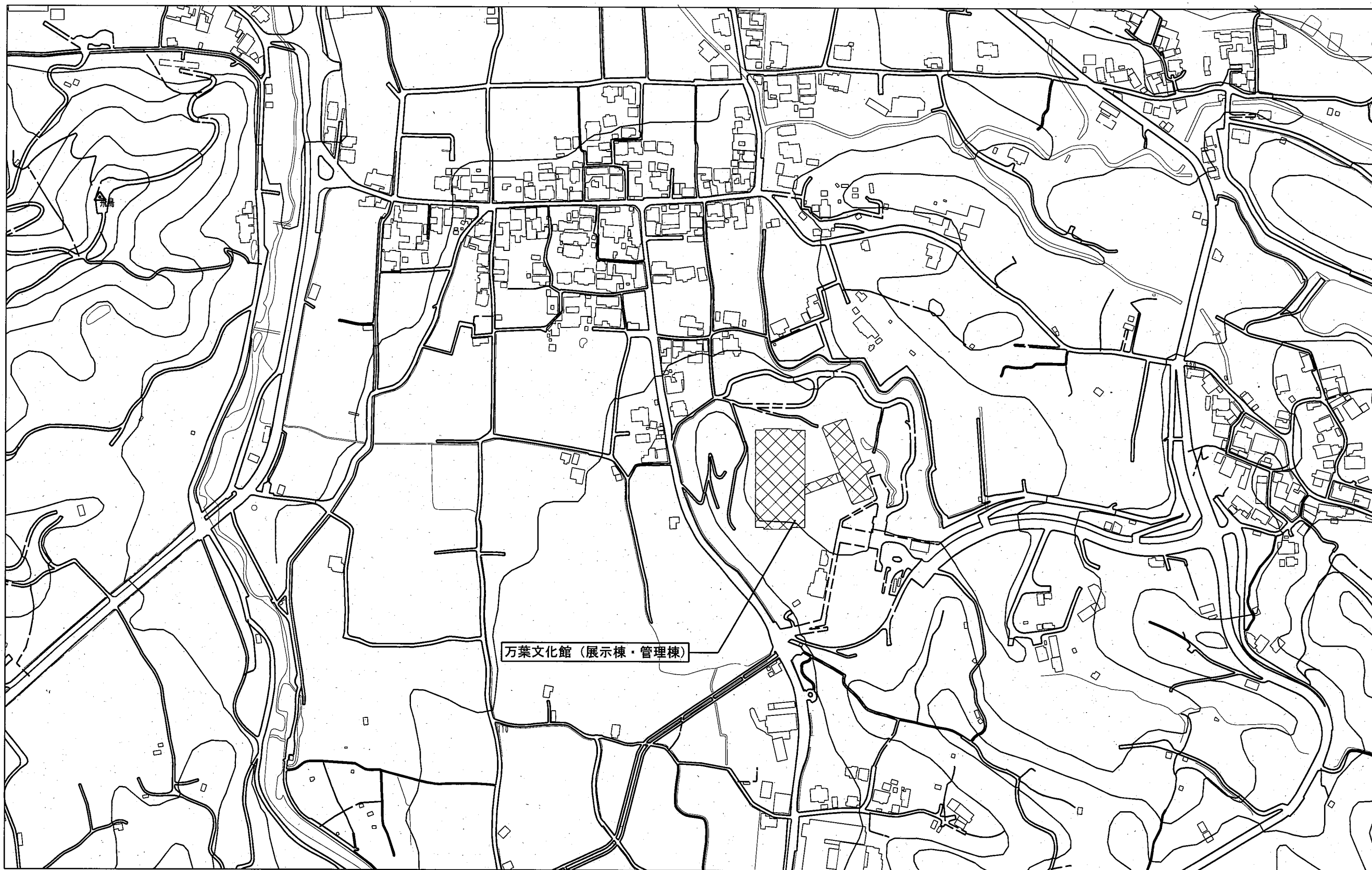


万葉文化館トイレ洋式化工事

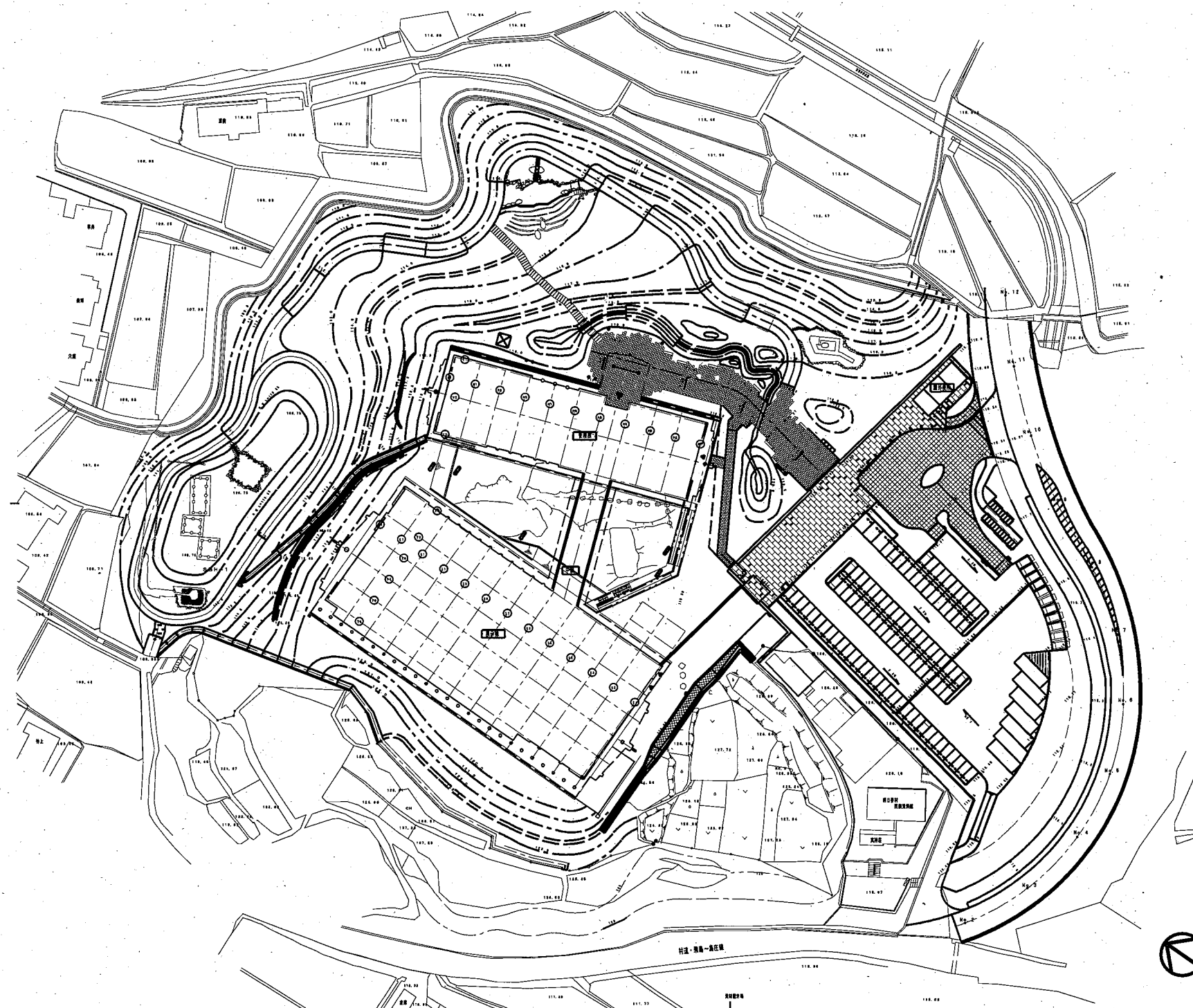
設計図





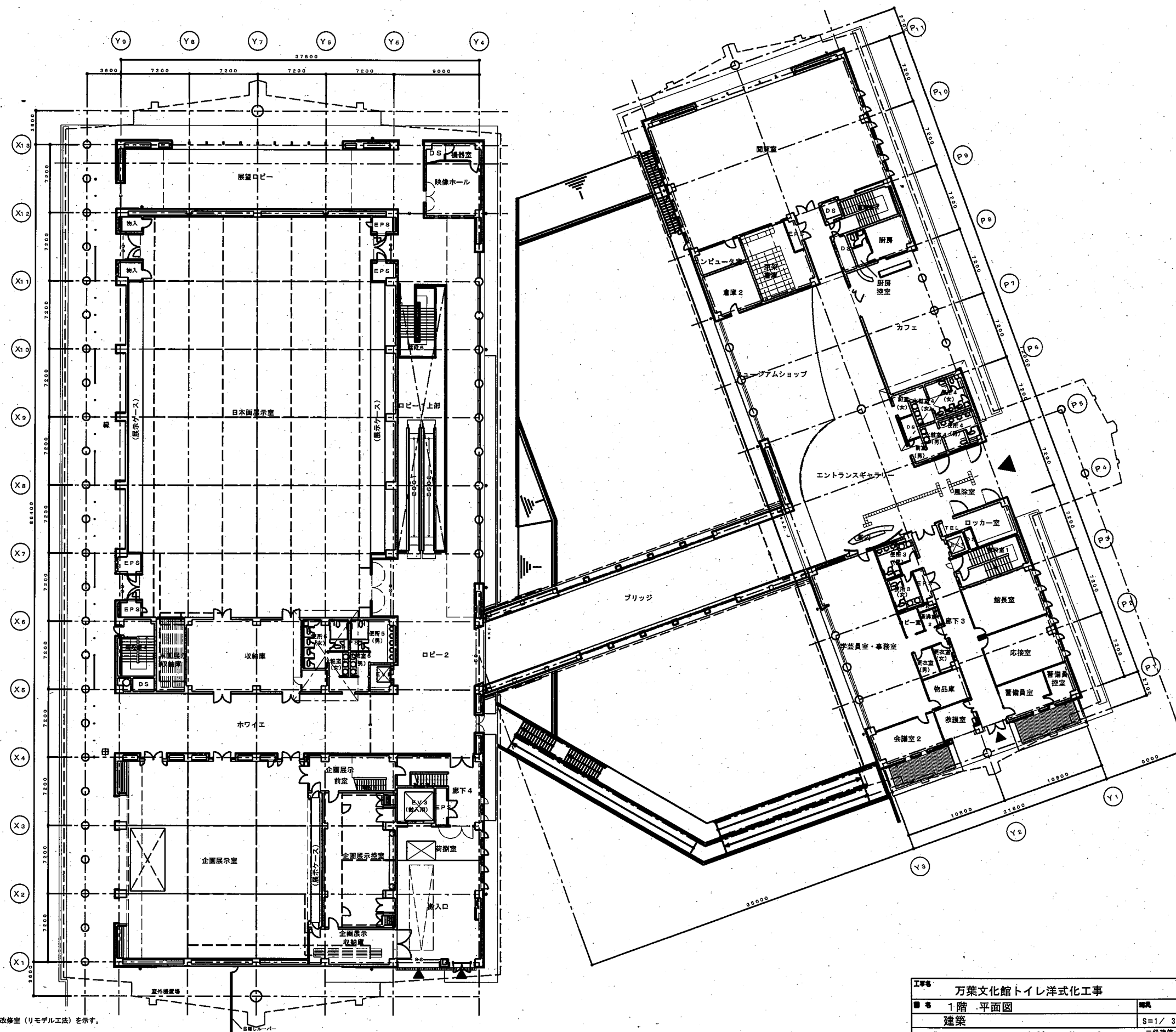
万葉文化館（展示棟・管理棟）

工事名 万葉文化館トイレ洋式化工事			図面番号 A-02	
● 8 附近見取図	縮尺 S=1/2500 (A2)	作成 令和 3年 9月	承認印	
建築	株式会社 辻建築設備研究所		二級建築士事務所 辻 邦昭 奈良県知事登録第2021 (ハ) 2302号	



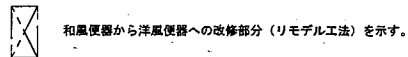
改修建物

工事名 万葉文化館トイレ洋式化工事		図番 A-03	
● 配置図	縮尺 S=1/1000 (A2)	訂正 令和 3年 9月	承認印
建築	株式会社 辻建築設備研究所		
▲		二級建築士事務所 辻 邦昭 奈良県知事登録第2021 (ハ) 2302号	

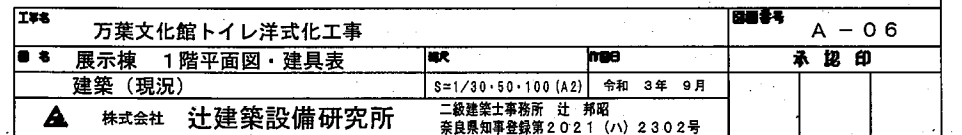


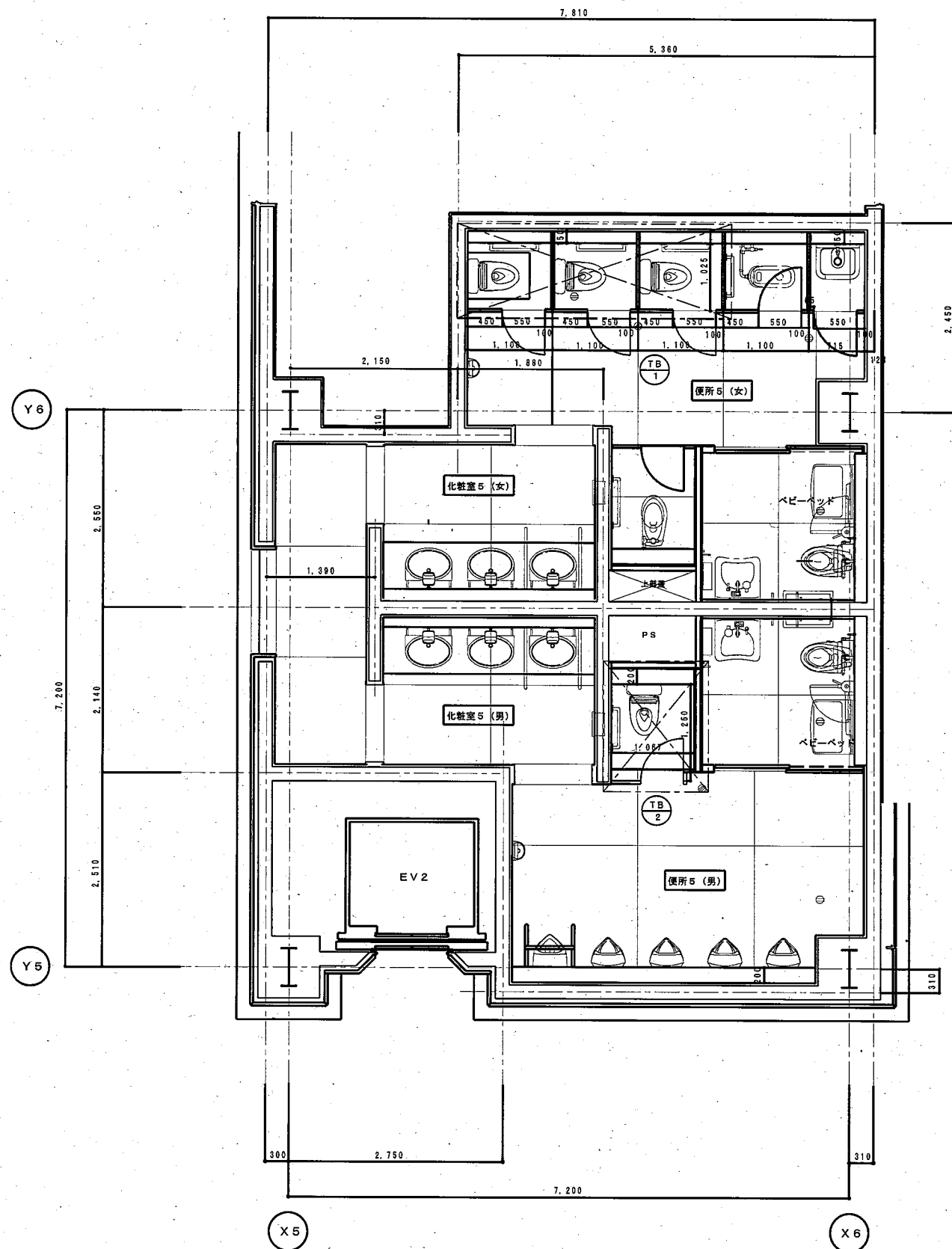
和風便所から洋風便所への改修工（リモデル工法）を示す。


万葉文化館トイレ洋式化工事			図番 A-05	
1階 平面図	建築工事	令和 3年 9月	承認印	
建築	S=1/300 (A2)	令和 3年 9月		
株式会社 辻建設設備研究所			二級建築士事務所 辻 邦昭 奈良県知事登録第2021 (ハ) 2302号	



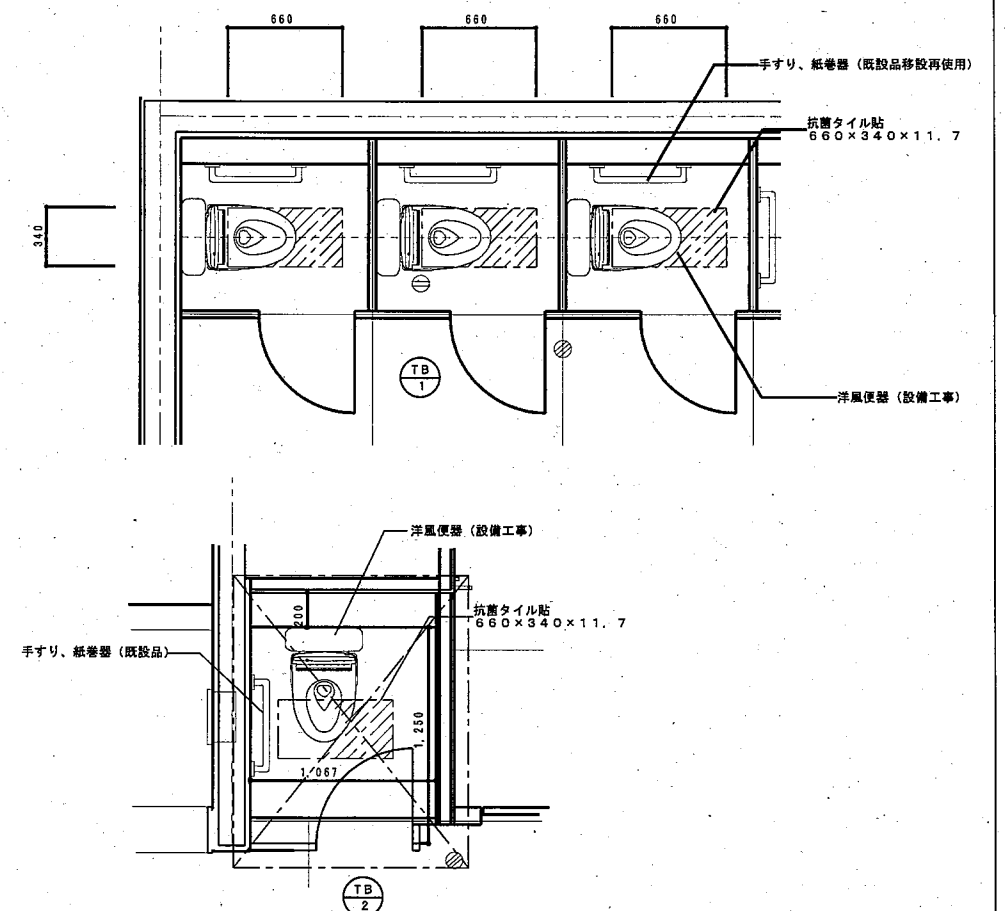
床御影石改修範囲 (和風便器から洋風便器への改修部分)
S = 1 : 30



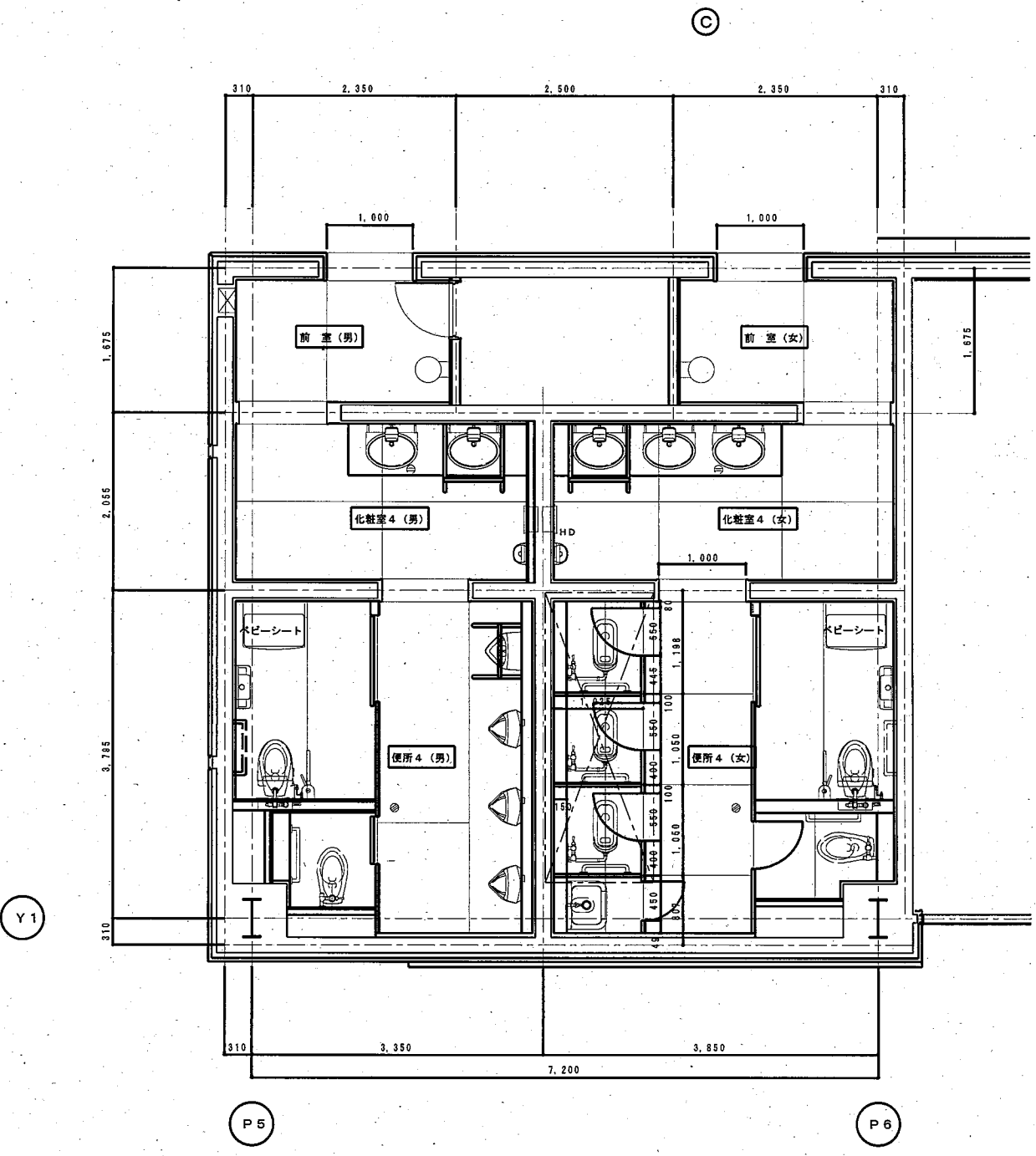


 和風便器から洋風便器への改修部分（リモデル工法）を示す。

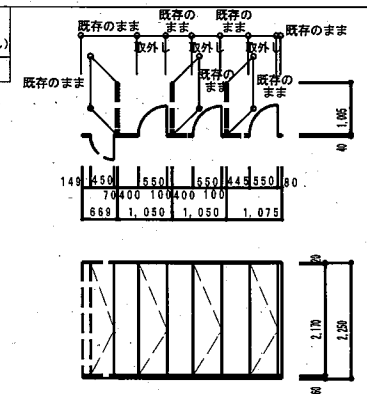
符号	形式・機構・寸図	使用場所	枠見込寸法	内法寸法 (W×H) (W×H) は開口寸法	材質仕上	特殊金物 付属品
TB 1	<p>既設再利用 (外開き扉3か所)</p> <p>片開き戸H=2250</p> <p>既設のままである部分を示す。既存のままだと記載されている箇所は、再利用される部分である。</p> <p>既設トイレブースのメーカーはコクヨ (株)</p> <p>既設トイレブースのメーカーはコクヨ (株)</p>	展示棟1階女子便所	40	550×2,250 (5,115)	-	表示錠 ステンレスエッジ金物 付属金物一式
TB 2	<p>新設 (内開き扉1か所)</p> <p>片開き戸H=2250</p> <p>新設の部分を示す。新設と記載されている箇所は、新たに設置される部分である。</p> <p>新設部分の詳細な断面図を示す。既存部分との接合部や構造を明確にする。</p> <p>新設部分の側面図を示す。既存部分との整合性を確認する。</p> <p>既設トイレブースのメーカーはコクヨ (株)</p>	展示棟1階男子便所	40	1,067×2,250 (110)	ペーパー ハニカム メラミン 化粧板	表示錠 ステンレス頭取ぎ ステンレスサポート ステンレスエッジ金物 付属金物一式



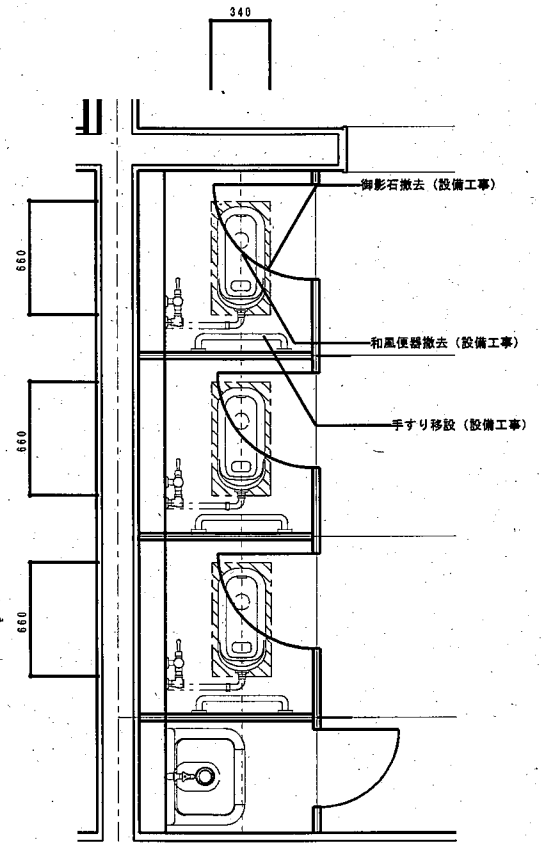
工事名 万葉文化館トイレ洋式化工事		図面番号 A - 07	
番 号	展示棟 1階平面図・建具表	縮尺	作図日
	建築 (改修)	S=1/30・50・100 (A2)	令和 3年 9月
▲	株式会社 辻建築設備研究所	二級建築士事務所 辻 邦昭 奈良県知事登録第 2021 (ハ) 2302号	

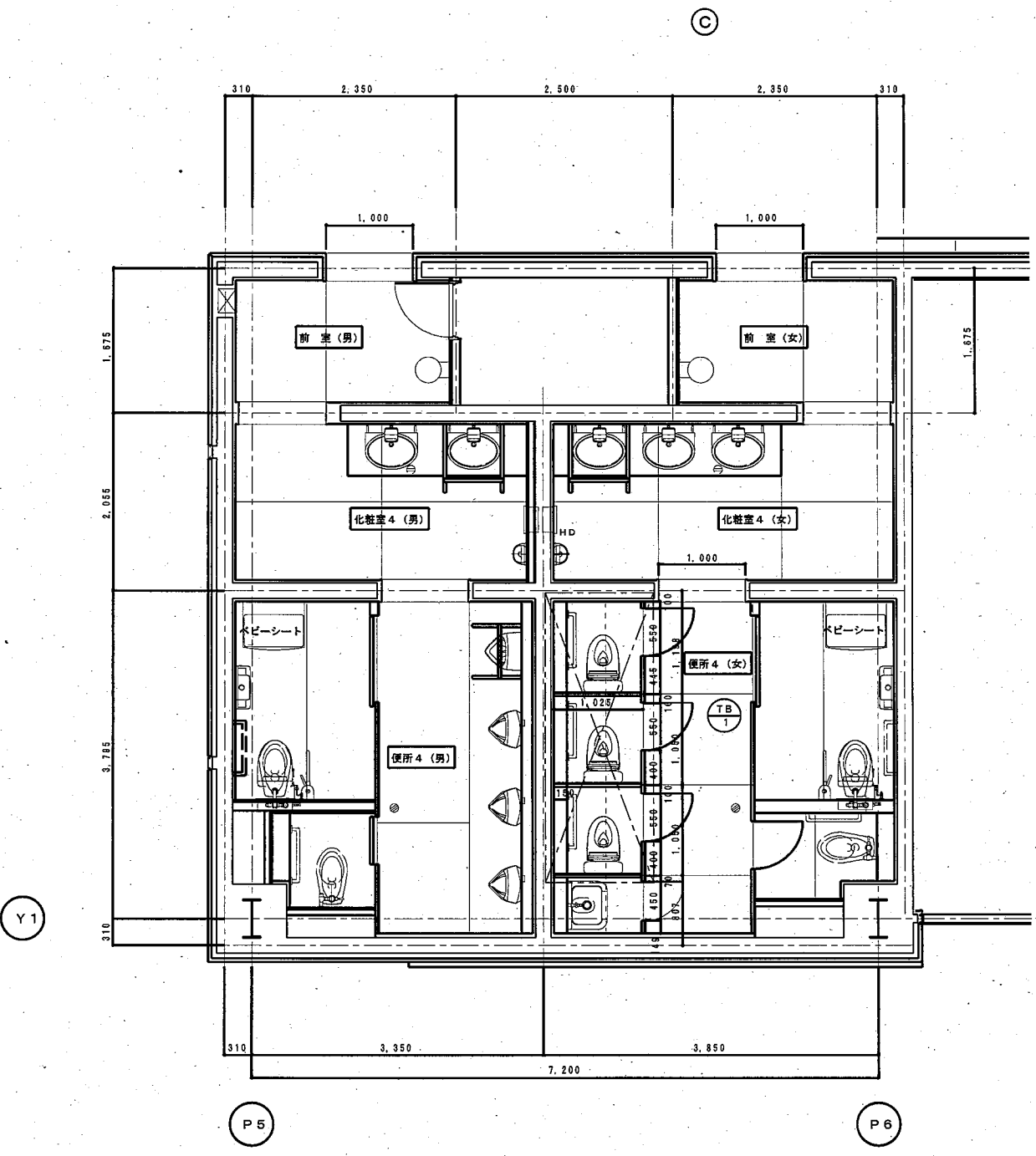


和風便器から洋風便器への改修部分（リモデル工法）を示す。

符号	形式・仕様・窓図	使用場所	枠見込寸法	内法寸法 (W×H) (W×H) は開口寸法	材質仕上	特殊金物 付属品
TB 1	一部取外し再利用 (内開き扉3か所取外し) 片開き戸H=2250 	管理棟1階女子便所	40	550×2,250 (3,844)	ペーパー ハニカム メラミン 化粧合板	表示錠 ステンレスエッジ金物 付属金物一式

既設トイレブースのメーカーはコクヨ（株）
床御影石改修範囲（和風便器から洋風便器への改修部分）
S=1:30

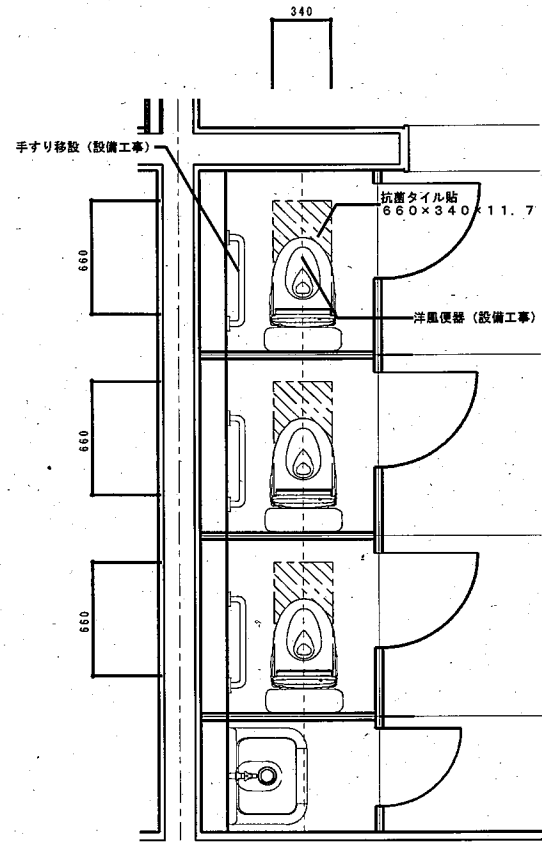




和風便器から洋風便器への改修部分 (リモデル工法) を示す。

符号	形式・機構・装図	使用場所	枠見込寸法	内法寸法 (W×H) (W×H) は開口寸法	材質仕上	特殊金物 付属品
TB 1	既設再利用 (外開き扉3か所) 片開き戸H=2250	管理棟1階女子便所	40	550×2,250 (3,844)	-	表示錠 ステンレスエッジ金物 付属金物一式

床御影石改修範囲 (和風便器から洋風便器への改修部分)
S=1:30



		平成31年版		Ver. 1.1	
共 <					

共

○耐震施工

設備機器の固定は「建築設備耐震設計・施工指針(独立行政法人建築研究所監修)2014年版」による。なお設計用水平地震力は、次に示す設計用標準水平地震力に、機器の重量を乗じたものとする。
また、設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。
設計用標準水平地震力

設置場所	○特定の施設		※一般の施設			
	機器	水槽類	機器	機器	水槽類	機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	2.0	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.5	1.0(1.5)
中間階	1.5(1.5)	1.5	1.0(1.5)	1.0(1.5)	1.0	0.6(1.0)
1階及び地下階	1.0(1.0)	1.5	0.6(1.0)	0.6(1.0)	1.0	0.4(0.6)

注 () の内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。
重要機器(水槽類)は、下記による。(水槽類にはオイルタンク等を含む。)
○消火設備 ○水槽類 ○ ○
上層階の定義は、次による。
6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、

平成31年版Ver. 1.1

方式

※新設
○空気調和
○ファンコイル・ダクト併用方式
○個別方式

○改修
○ダクト方式 (○中央 ○各階ユニット)
○ファンコイル・ダクト併用方式
○個別方式

主要熱源機器

○ボイラー
○遠心冷凍機
○冷却塔
○直置き吸収冷水機
○氷蓄熱ユニット
○パッケージ形空調和機
○ファンコイルユニット

○温風暖房機
○スクリーン冷凍機
○チリングユニット
○小型吸収冷水機
○ユニット形空調和機
○ガスエンジン式パッケージ形空調和機
○空気清浄装置
○全熱交換器
○放熱器

○温水発生機
○吸収冷凍機
○空気熱源ヒートポンプユニット
○コジェレーション装置
○コンパクト形空調和機
○放熱器

設計時の温湿度条件

場所	屋外		屋内 (調整目標値)			
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
冬 期	0.4℃	68.0%	22℃	40%	℃	%
夏 期	35.1℃	52.3%	26℃	50%	℃	%

ダクトの種別

※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト

(3.2.2.2) (3.2.2.2)

ダクトの工法

○アングルフランジ工法 ○スパイラルダクト ○フレキシブルダクト
○コーナーボルト工法 (○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)
(長辺の長さが1500mm以下の部分) (3.2.2.1)~(3.2.2.5)
※屋外に設置するダクト類にはシール等で水密を確保する。 (3.2.2.1)~(3.2.2.5)

チャンバー等

製作及び取付は、標準仕様書第3編2.2.2「アングルフランジ工法ダクト」の当該事項による。
※要 (標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.4による。)
消音内貼 ○不要 (2.3.1.4) (3.1.14.5) (3.2.2.2) (3.2.2.6)

吹出口及び吸込口ボックスの材料

※亜鉛鉄板製 ○グラスウール製 (3.1.14.5)
ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによれない場合は監督職員との協議による。

風量測定口の取付位置

図示による。 (図面番号) (3.2.2.6)

配管材料

図面に明記なき配管材料は、下記による。 (2.2.1.2)
(1) 冷温水管・膨張管・エアータンク・膨張タンクよりボイラー等への補給水管
※配管用炭素鋼管 (白管)
○耐熱性ライニング鋼管 (SGP-HVA, SGP-H-FVA, SGP-H-FCA)
○ステンレス鋼管 (SUS304) (継手)
○架橋ポリエチレン管
○ポリブデン管
(2) 冷却水管
※配管用炭素鋼管 (白管)
○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA)
○ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PA, SGP-FPA)
○ステンレス鋼管 (SUS304) (継手)
(3) 蒸気給気管
※配管用炭素鋼管 (黒管)
○圧力配管用炭素鋼管 (STPG370黒管Sch40)
(4) 蒸気還管
※配管用炭素鋼管 (STPG370黒管Sch40)
○一般配管用ステンレス鋼管 (SUS304) (継手)
(5) 高温水管
※圧力配管用炭素鋼管 (STPG370黒管) ○Sch40 ○Sch80
(6) 油管
※配管用炭素鋼管 (黒管) (トラフ内共) (※一般 ○)
※硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) (※地中 (屋内及び屋外) ○)
(7) 空調用給水管
○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA)
○ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PA, SGP-FPA)
○水道用硬質塩化ビニル管 (HIVP)
(8) 空調用排水管
○硬質塩化ビニル管 (VP)
○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (D-VA)
○結露防止層付硬質塩化ビニル管 (屋内)
(9) 冷媒管
※断熱材被覆鋼管
○銅管
○圧力配管用炭素鋼管 (STPG370黒管Sch40)

定風量ユニット
変風量ユニット

○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ (3.1.15.13) (3.2.15.14)

地下オイルタンク

(1) 本体 ※地下オイルタンク 記号 T0-
○鋼製強化プラスチック製二重殻タンク 記号 T0SF-
(2) 蓋 ※WPM-AW800 ○WPM-AW700 ○WPM-A450 ○
(3) タンク室 ○設けない (コロッケ形) ○
(4) コンクリート工事 ※本工事 ○別途建築工事
(5) コンクリート躯体工事 ※本工事 ○別途建築工事

内部充填砂
タンク外面防護処理
※施工しない
○施工する (○アスファルト被覆 ○エポキシ樹脂被覆 ○)

(8) 基礎杭 ※不要 ○要

(9) 遠隔油量指示計 ※設ける ○設けない

バーナーの制御方式

○オン・オフ制御 ○ハイ・ロー制御 ○比例制御 ○ ()
(3.1.1.1) (3.1.2.1) (3.1.2.2) (3.1.2.3) (3.1.2.4)

鋼板製煙道

図面に明記なき鋼板製煙道の厚さ ※3.2mm ○4.5mm (3.1.1.3)
煤煙濃度計取付座及び煤塵量測定口 (80φ以上) の箇所は図示による。 (3.2.1.4)
(図面番号)

ばい煙濃度計

○設けない (3.1.1.4)
○設ける (電源制御盤より取り出し配管配線は本工事に含む。)
※送風機付き ○送風機なし

給水軟化装置

(1) 運転方式 ※自動式 ○手動式 (3.1.1.6)
(2) イオン交換樹脂筒 ※1筒式 ○ ()
(3) 処理水用硬度測定器 ※設ける ○設けない

無圧式温水発生器

ステンレスを除く鋼製の場合の内面防錆処理は (3.1.2.2)
の本体内面防錆処理
○溶融亜鉛めっき2種55 ○溶融アルミニウムめっき2種
○熱媒水に腐食抑制剤を添加する方法

ポンプユニット
空気熱源ヒートポンプ
ユニット
遠心冷凍機
スクリーン冷凍機

○圧縮機インバーター制御 (図面番号) (3.1.3.1)~(3.1.3.4)
○モジュール型の適用 (図面番号)
○氷蓄熱用に使用する場合の適用 (図面番号)
○始動方式 (図面番号)
○

冷媒

図示による。 (図面番号) (3.1.3.1)~(3.1.7.7)

成績係数

図示による。 (図面番号) (3.1.3.1)~(3.1.7.7)
○グリーン購入法で定める数値以上とする。

スクリーン冷凍機

○熱回収型の適用 (図面番号) (3.1.3.4)

直置き吸収式冷水機

排熱熱交換器 ○設ける ○設けない (3.1.3.6)
排熱投入型再生器 ○設ける ○設けない
排熱を回収又は投入している運転状態における燃料削減率は図示による。
(図面番号)

小型吸収式冷水機
機ユニット

冷却塔、ポンプの補機類の組み込みの有無等図示による。 (図面番号) (3.1.3.7)

コジェレーション装置

仕様、システム等は図示による。 (図面番号) (3.1.4.1)~(3.1.4.16)

氷蓄熱ユニット

冷媒は図示による。 (図面番号) (3.1.5.1)~(3.1.5.11)
氷生成装置 ○スタティック形 (○内融式 ○外融式 ○カプセル式)
○ダイナミック形
タンク本体の材質は図示による。 (図面番号)
基礎等は図示による。 (図面番号)

空気調和機

○ユニット形空調和機 加湿器、許容騒音レベル、吐出口風速等図示による。
(図面番号) (3.2.1.12)
○コンパクト形空調和機 加湿器、1771ルター、制御盤等図示による。
(図面番号)
○ファンコイルユニット サブドレンパンの適用は図示による。
(図面番号)
○カセット形ファンコイルユニット 図示による。 (図面番号)
○パッケージ形空調和機 加熱器、加湿器、1771ルター、冷媒等図示による。
○ガスエンジンヒートポンプ式空調和機 加湿器、冷媒、成績係数等図示による。
(図面番号)
基礎 ※標準基礎 ○防振基礎 (3.1.7.1)~(3.1.7.7)

空気清浄装置

フィルターの形式等図示による。 (図面番号) (3.1.8.1)~(3.1.8.5)

回転全熱交換器

回転数制御装置は図示による。 (図面番号) (3.1.9.1)~(3.1.9.4)

全熱交換ユニット

運転表示灯及び操作スイッチ等は図示による。 (図面番号) (3.1.9.1)~(3.1.9.4)

放熱器及び放熱器
付属品

ファンコンベクターの吹出口、吸込口、エアフィルター等図示による。
(図面番号)
コンベクター、パネルラジエーターの寸法、放熱能力等図示による。
(図面番号) (3.1.10.1)~(3.1.10.11)

送風機

電動機の仕様等は図示による。 (図面番号) (3.1.11.1)~(3.1.11.4)
水抜き穴 (※設けない ○設ける)
基礎 ※標準基礎 ○防振基礎 (振動絶縁効率 %) (3.2.1.19)

ポンプ類

本体及びベ-スの材質、構成、形式、7-弁の口径、電動機等図示による。
(図面番号) (3.1.12.1)~(3.1.12.6)
基礎 ※標準基礎 ○防振基礎 (振動絶縁効率 %) (3.2.1.20)

還水タンク

※SUS鋼板溶接加工 (○SUS304 ○SUS316 ○SUS444)
配管接続は図示による。 (図面番号) (3.1.13.2)

膨張タンク

○開放形膨張タンク (○鋼板製 ○ステンレス鋼板製 (SUS304)) (3.1.13.5)
○密閉形隔膜式膨張タンク (溶接栓 ○あり ○なし) (3.1.13.6)

ヘッダー

○接続口を設ける (○還水管 ○排水管) (3.1.13.9)

ダクトの種別

※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト (3.2.2.1)

ダクトの工法

○アングルフランジ工法 ○スパイラルダクト ○フレキシブルダクト
○コーナーボルト工法 (長辺の長さが1500mm以下の部分)
(○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) (3.2.2.1)~(3.2.2.4)

厨房用排気ダクトの
板厚

厨房用排気ダクトの板厚は下記による。 (3.2.2.2)

ダクトの長辺 (mm)	適用表示厚さ (mm)
450以下	()
450を超え、750以下	()
750を超え、1500以下	()
1500を超え、2200以下	()

送風機

電動機直動式の場合の極数等図示による。 (図面番号) (3.1.11.1)~(3.1.11.4)
基礎 ※標準基礎 ○防振基礎 (振動絶縁効率 %) (3.2.1.19)

吹出口及び吸込口
ボックスの材料

※亜鉛鉄板製 ○グラスウール製 (3.1.14.5)

排気フード

(1) 排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は次による。 ※ステンレス鋼板 (補強共) ○亜鉛鉄板
(2) スード囲いにダンパー類の点検口を ○設ける ○設けない
(3) フードの内側周囲にはといを設け、といには呼び径10~20の黄銅製コック、プラグ又はステンレス製コックを ○設ける ○設けない (3.1.14.6)

グリス除去装置

○グリスエクストラクター ○グリスフィルター (3.1.14.9)

防煙ダンパー
防火防煙ダンパー
ピストンダンパー

防煙ダンパー・防火防煙ダンパーの復帰方式 (3.1.15.8)~(3.1.15.10)
※遠隔復帰式 (電気式 (定格入力 DC24V 0.6A以下)) ○手動復帰式
ピストンダンパーの復帰方式 ※遠隔復帰式 ○手動復帰式

ドレン抜き

厨房、浴室等の多湿箇所の排気ダクトに設ける。 (図面番号) (3.2.2.1)

排煙対象部分

○廊下 ○事務所 ○図示による。 (図面番号) ()
○最大面積 m²

ダクトの種別

○高圧1ダクト ○高圧2ダクト (3.2.2.1)

ダクトの工法

※アングルフランジ工法 ○ (3.2.2.1)~(3.2.2.2)

ダクトの材料

※亜鉛鉄板製 ○普通鋼板製 (3.1.14.1)

排煙口及びダンパー

(1) 形状 ○スリットフェイス形 ○パネル形 ○ダンパー形
(2) 排煙口の作動 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動
(3) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管、配線は別途工事 (電気設備工事) とする。

排煙機

※遠心送風機 ○斜流送風機 ○軸流送風機 (3.1.11.4)
基礎 ※標準基礎 ○防振基礎 (振動絶縁効率 %) (3.2.1.19)

自動制御設備一般

システム構成、仕様及び機能は図示による。 (図面番号) (4.1.1.1)

自動制御機器

デジタル式調節部の中央監視制御装置との通信機能は図示による。
(図面番号) (4.1.2.2)
操作部電動弁の開閉状態を遠方表示するための電気接点は図示による。
(図面番号) (4.1.2.3)

中央監視制御装置
一般

システム構成、仕様及び機能は図示による。 (図面番号) (4.1.4.1)

中央監視盤

システム構成、仕様及び外観形状は図示による。
(図面番号) (4.1.4.2)

周辺装置

印字装置の方式は図示による。 (図面番号) (4.1.4.3)
集合表示装置は図示による。 (図面番号)

端末装置

種類及び機能は図示による。 (図面番号) (4.1.4.4)

電気計装用機材

電線及びケーブルの規格、通信信号線の規格及び使用区分、線径及び本数は図示による。
電線管及び付属品等の規格は図示による。 (図面番号) (4.1.5.1)

万葉文化館トイレ洋式化工事

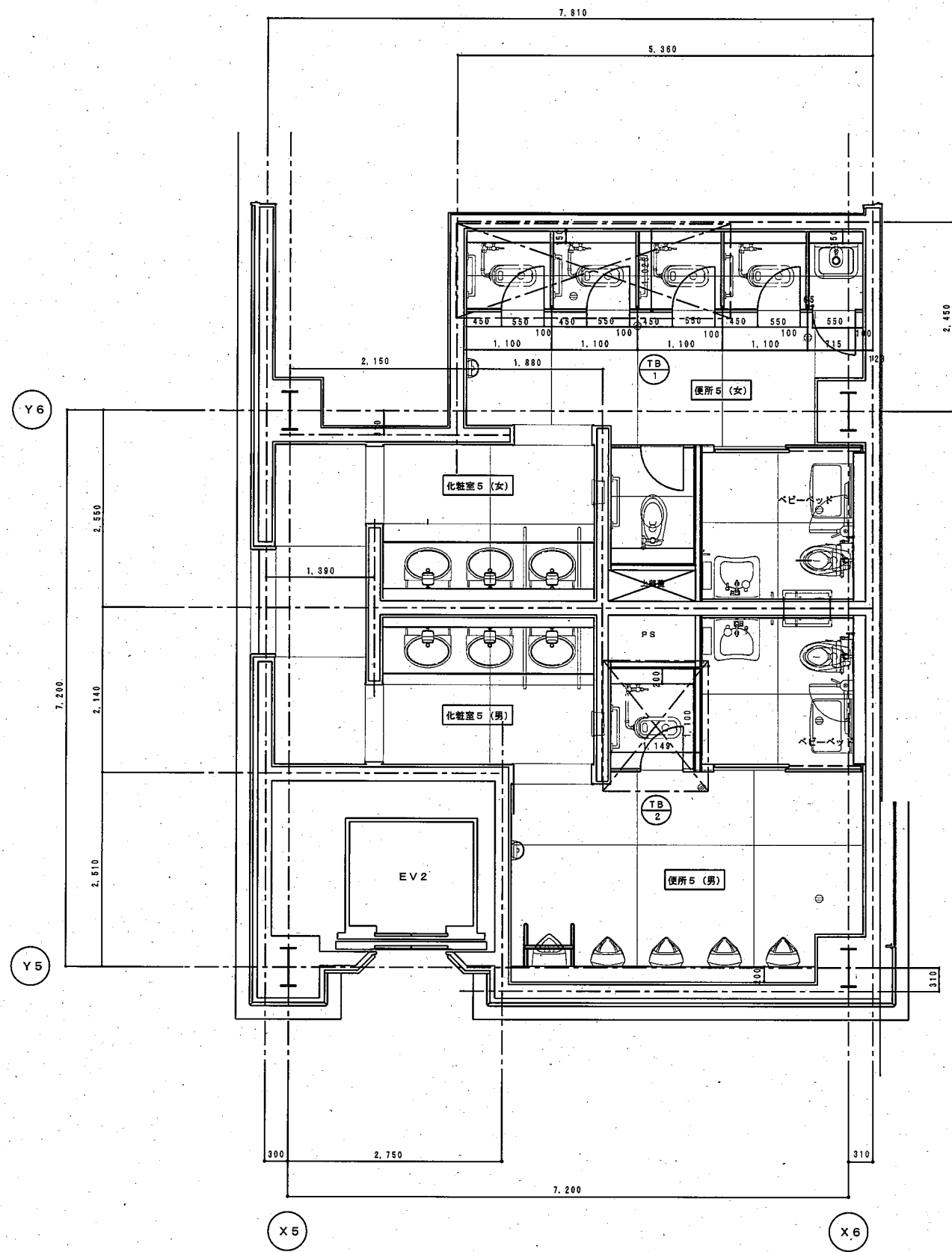
図面番号 M-03

機械設備工事 特記仕様書-3

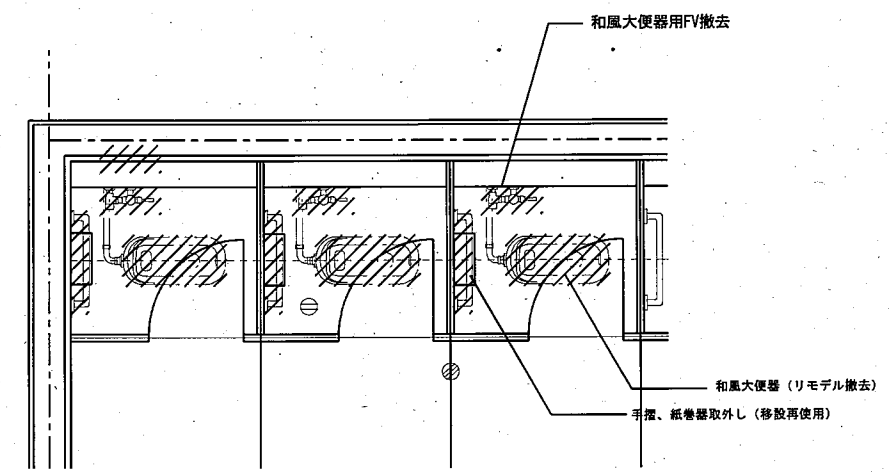
令和3年9月

株式会社 辻建築設備研究所

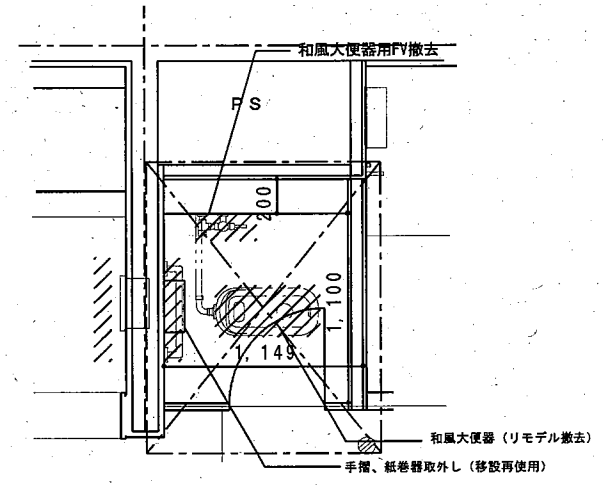
二級建築士事務所 辻 邦昭
奈良県知事登録第2021 (ハ) 2302号



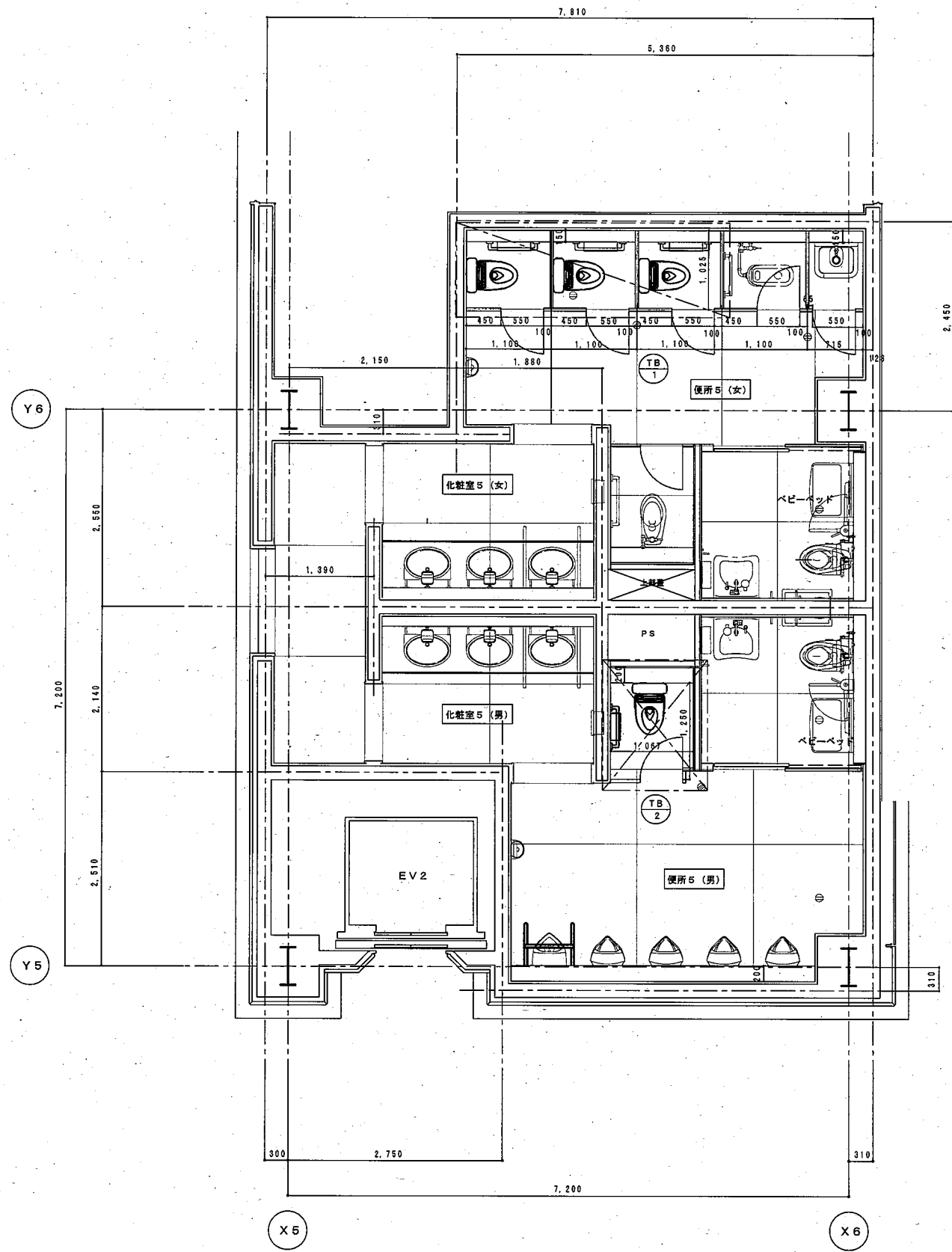
和風便器から洋風便器への改修部分（リモデル工法）を示す。



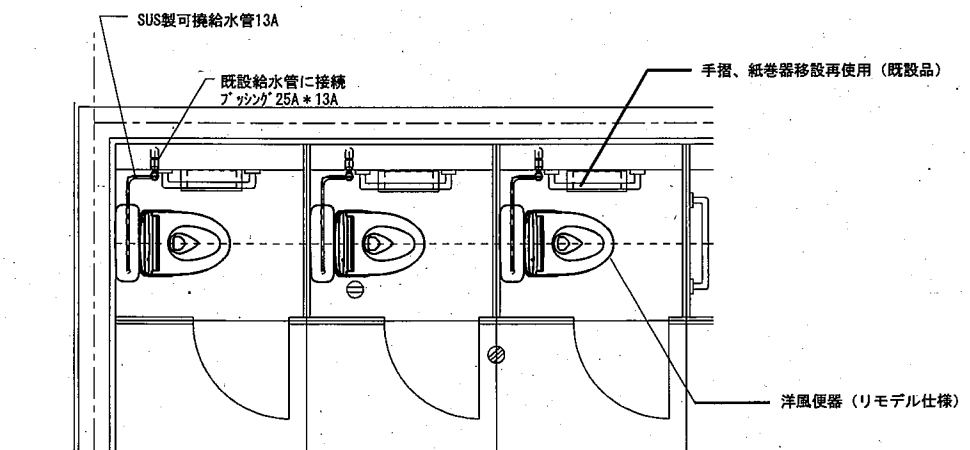
器具リスト				
器具名称	器具品番	器具付属品	備考	組数
和風大便器 (リモデル撤去)	C755, TV750BR	CFS498BMK3NW1 YCF5534AU3NW1	リモデル仕様対応処理	3
手摺	YH60KS		取外し（移設再使用）	3
紙巻器(2連式)			取外し（移設再使用）	3



器具リスト				
器具名称	器具品番	器具付属品	備考	組数
和風大便器 (リモデル撤去)	C755, TV750BR	CFS498BMK3NW1 TCF5534AU3NW1	リモデル仕様対応処理	1
手摺	YH60KS		取外し（移設再使用）	1
紙巻器(2連式)			取外し（移設再使用）	1

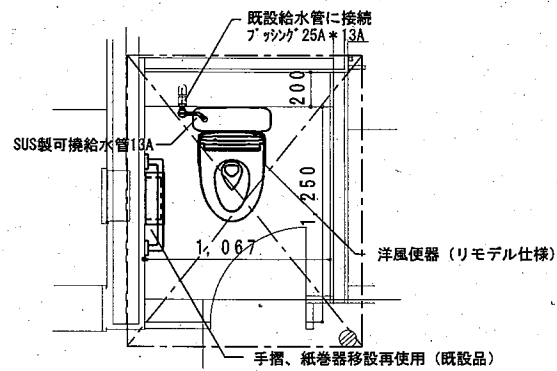


和風便器から洋風便器への改修部分（リモデル工法）を示す。



器具リスト				
器具名称	器具品番	器具付属品	備考	組数
洋風便器	CFS498BMK3NW1	CFS498BMK3NW1 TCF5534AU3NW1	リモデル仕様対応品	3
手摺			既設品再取付	3
紙巻器(2連式)			既設品再取付	3

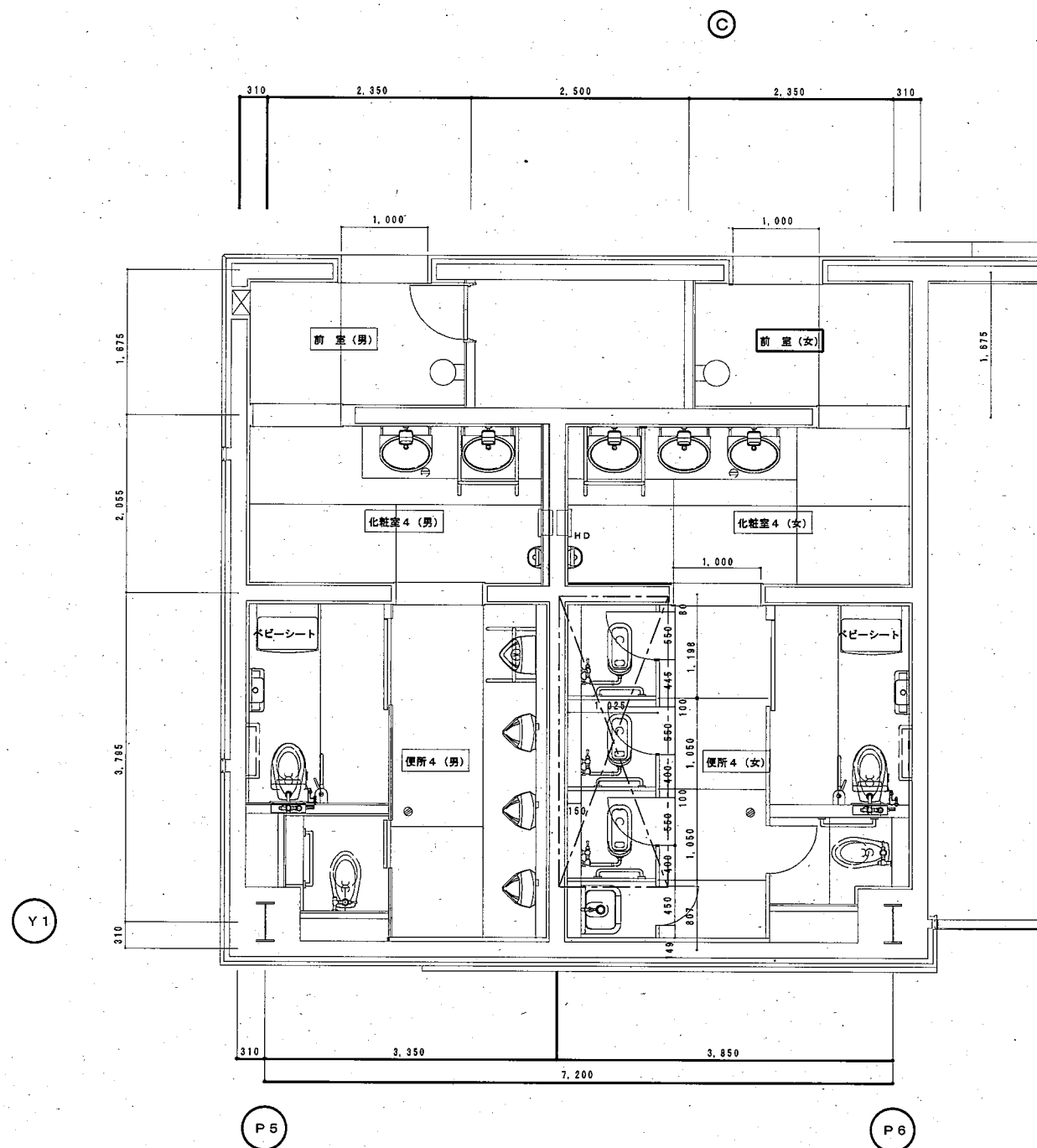
※ 既設フラッシュ弁給水管壁開口部SUS製プレート貼り共
※ 既設手摺、紙巻器固定用開口部SUS製プレート貼り共



器具リスト				
器具名称	器具品番	器具付属品	備考	組数
洋風便器	CFS498BMK3NW1	CFS498BMK3NW1 TCF5534AU3NW1	リモデル仕様対応品	1
手摺	既設品		移設再取付	1
紙巻器(2連式)	既設品		移設再取付	1

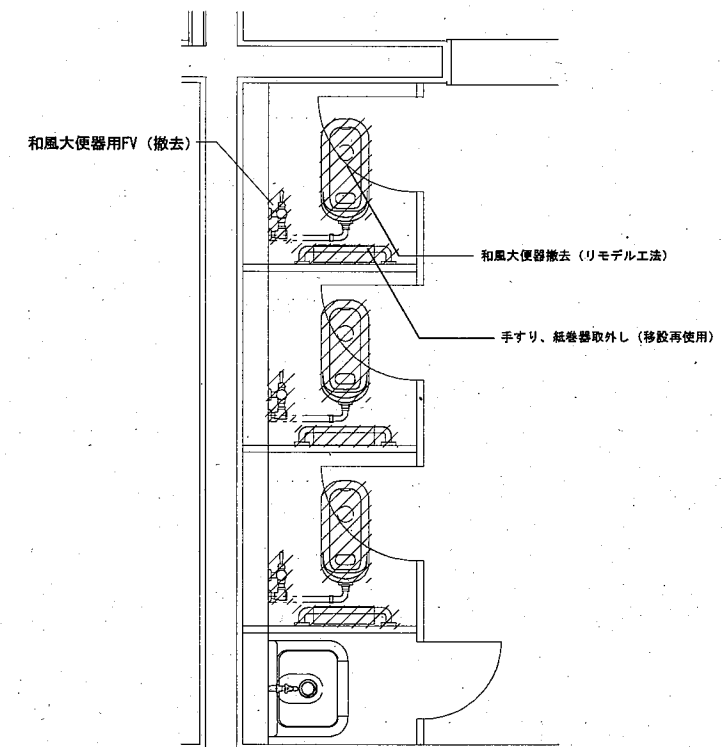
※ 既設フラッシュ弁給水管壁開口部SUS製プレート貼り共
※ 既設手摺、紙巻器固定用開口部SUS製プレート貼り共

S = 1 : 50

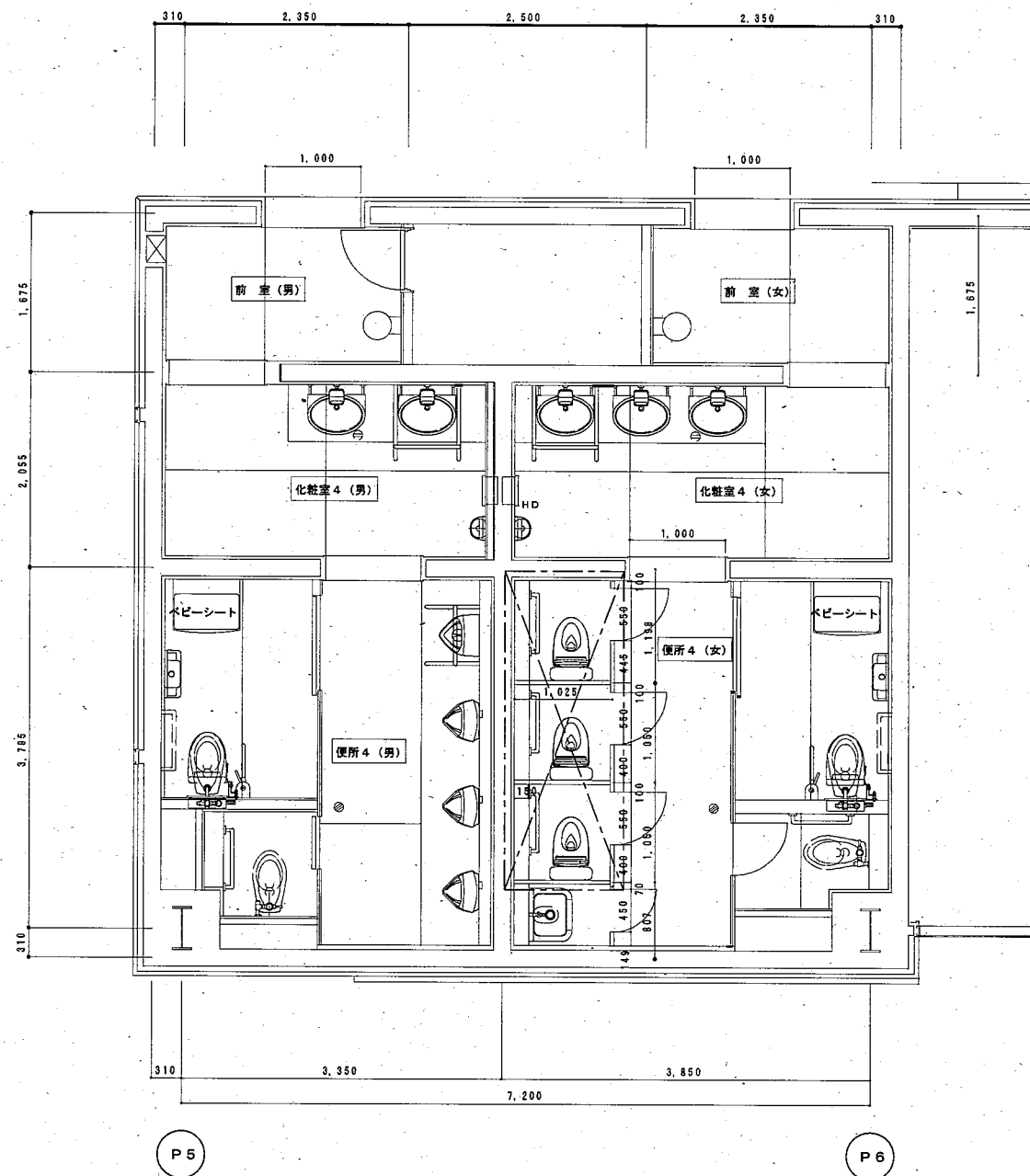


和風便器から洋風便器への改修部分（リモデル工法）を示す。

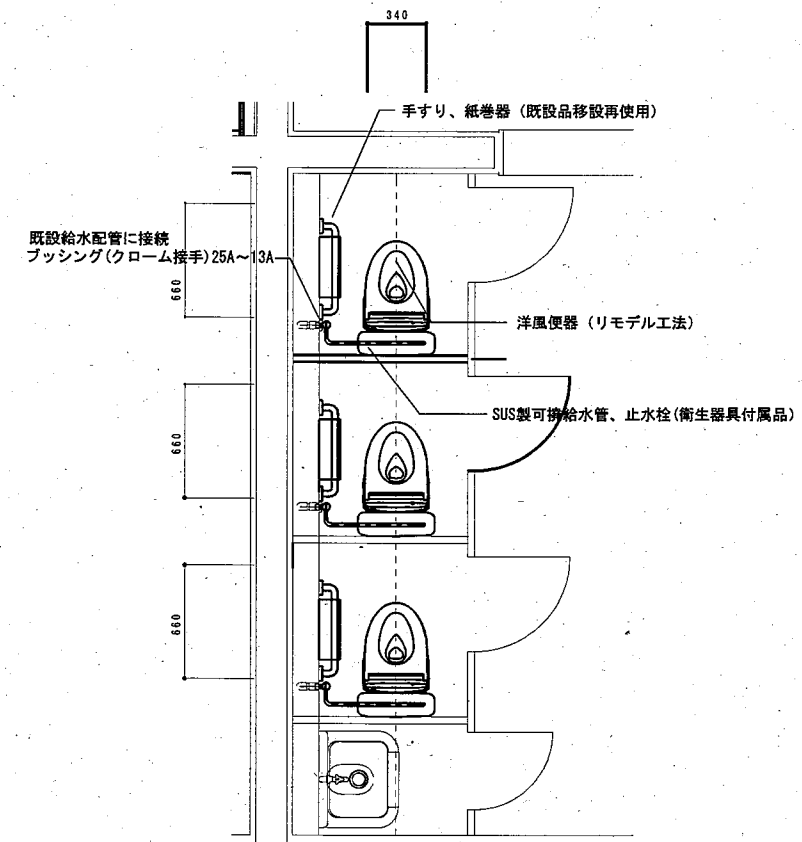
S = 1 : 3 0



器 具 リ ス ト				
器具名称	器具品番	器具付属品	備考	組数
和風大使器 (リモデル撤去)	C755, TV750BR	CFS498BWK3NW1 TCF5534AU3NW1	1台 仕様対応処理	2
手摺	YH60KS		取外し (移設再使用)	2
紙巻器 (2連式)			取外し (移設再使用)	2



和風便器から洋風便器への改修部分（リモデル工法）を示す。

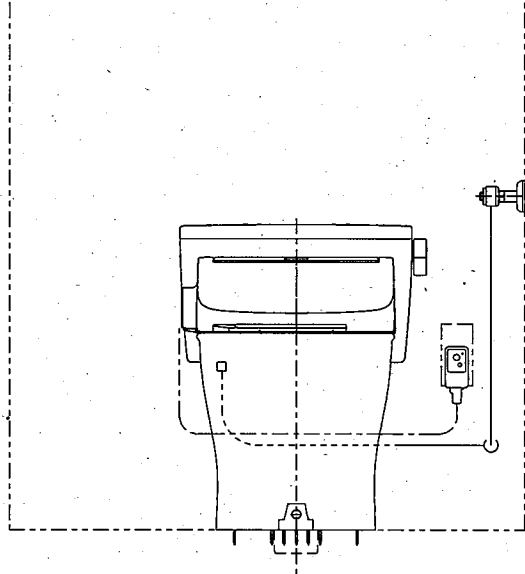
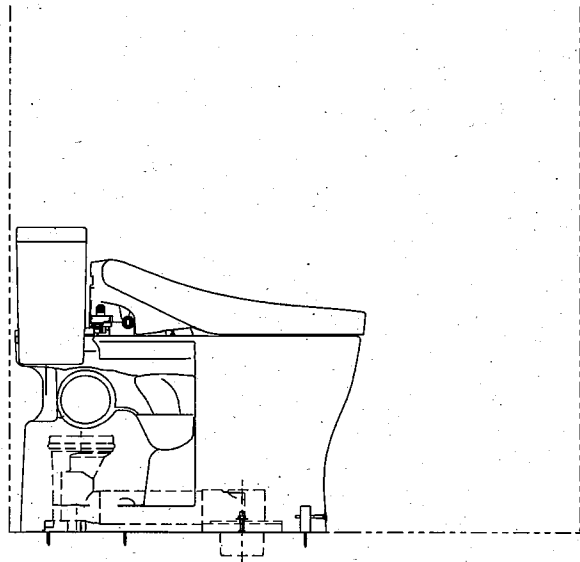
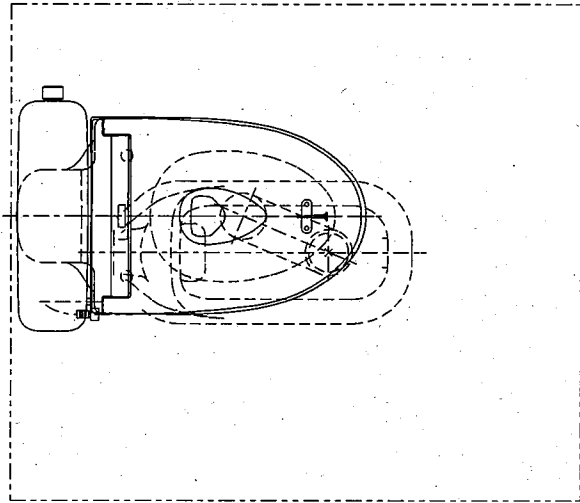


器具リスト				
器具名称	器具品番	器具付属品	備考	組数
洋風便器	CFS498BMK3NW1	CFS498BMK3NW1 TCF5534AU3NW1	別マ仕様対応品	3
手檜			既設品再取付	3
紙巻器(2連式)			既設品再取付	3
				3

※ 既設フラッシュ弁給水管壁開口部SUS製プレート貼り共
※ 既設手摺、紙巻器固定用開口部SUS製プレート貼り共

TOTO 和洋リモデル工法 参考レイアウト図

(洋風便器CFS498BM+ウォシュレットP)

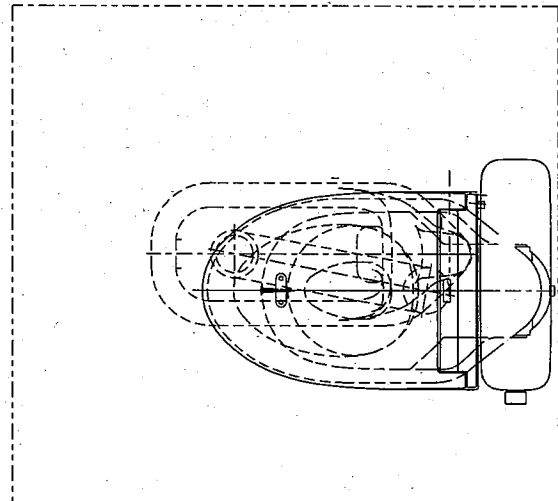


和洋リモデル工法における新設洋風便器のレイアウト上の制約条件

- ・既設和風便器排水心から新設洋風便器排水心までの偏心量が専用排水管の偏心量と同じであること。
- ・既設和風便器の給水立上げ位置が新設洋風便器に干渉しないこと。
- ・新設洋風便器の給水は既設和風便器の給水取し位置から床上露出の一般配管で引き回せること。
引き回した給水配管が新設洋風便器の使用時に影響ない位置であること。
- ・既存和風便器の給水がロータンク仕様の場合、新設洋風便器もロータンク仕様とすること。
(既設和風便器がロータンク仕様の場合、新設洋風便器はフラッシュバルブ式には出来ません。)
- ・既設トイレブース扉が内開きの場合、扉が新設洋風便器に当たらないこと。
レイアウト上どうしても当たる場合は、扉の開き勝手を外開きに変更すること。
その際は、ブース外側の通路状況にも配慮すること。
- ・新設洋風便器前面からトイレブースまでの寸法を350mm以上確保を推奨する。
- ・使用者がブースに出入り可能で、問題なく使用できること。
- ・洋風便器が掃除口付の場合は、掃除口がある側にメンテナンス空間を確保すること。

(洋風便器CFS498BM+ウォシュレットPの場合)
和洋リモデル工法の採用にあたってのご注意

- ・和洋リモデル工法は、性能や品質を確保するために専用部材を使用し、所定の方法にて施工を行う工法です。
施工はTOTOが認定した会社(和洋リモデル工法 認定施工店)にご依頼ください。
- ・和洋リモデル工法における標準工事
 - ・工事期間が2日間であること
 - ・1フロア工事が可能であること
 - ・現場調査および施工は認定施工店にて実施すること
- ・新設洋風便器はTOTO品としてください。VP15・VU75に対応する床排水便器が設置可能です。
ただし、フラッシュバルブ式洋風便器(CS464M系・CS465系)においては、
低圧形フラッシュバルブ(TV180系)との組合せは設置出来ません。
- ・洋風便器の種類によっては、洗浄水量を便器標準洗浄水量よりも増やす必要があります。
- ・改修後のトイレ清掃は乾式清掃としてください。
- ・建築構造がRC構造・SRC構造の場合に対応可能です。S構造の場合は新設洋風便器の排水位置に制約があります。
- ・両用便器など既設和風便器の種類によっては、和洋リモデル工法では対応できない場合があります。
- ・既設和風便器の外に新設洋風便器の排水を立上げる場合は、床厚みが180mm以上で、既設和風便器が支え台で
確実に支えられていることが必要となります。
- ・上記のほか、現場調査の結果によっては、和洋リモデル工法での対応ができない場合があります。
この場合は、従来工法での対応となります。
- ・給水管切り換え・床仕上げ・新規洋風便器設置は在来工事での対応となり、和洋リモデル工法の範囲外となりますので、
認定施工店以外でも施工可能です。
- ・新設洋風便器のレイアウトに際しては、別紙制約にご注意ください。

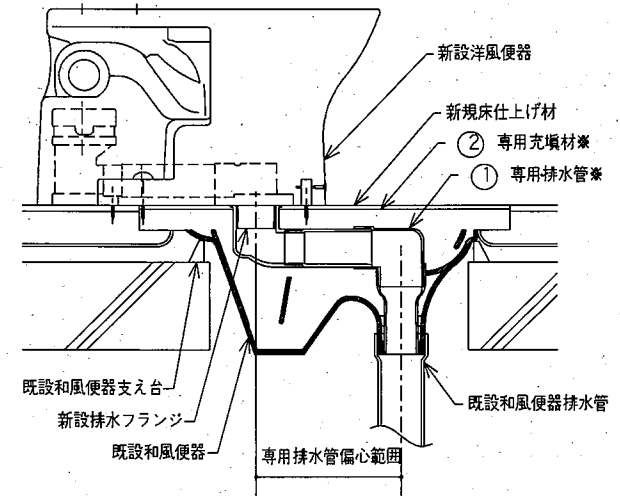


洋風便器のレイアウト例-1(和風便器と平行設置の場合)
(洋風便器CFS494M+ウォシュレットPの場合 S=1/10)

TOTO 和洋リモデル工法 概要図

作成日: 2021.01.15

- ・和洋リモデル工法の基本設計検討の図面作成用として作成したものです。
- ・現場の状況や現場調査の結果により、実現場の状況は本資料と異なる場合があります。
- ・本資料で示している、既設の和風便器設置状況・給水立上げ状況、トイレブースの状況
および新設洋風便器の設置状況などは、個々の現場の状況を示すものではありません。



施工後の断面状況例
(洋風便器CFS494M、排水フランジHP430-Iの場合)

※: 和洋リモデル工法の認定を受けた会社で施工する部材。

和洋リモデル工法専用部材一覧

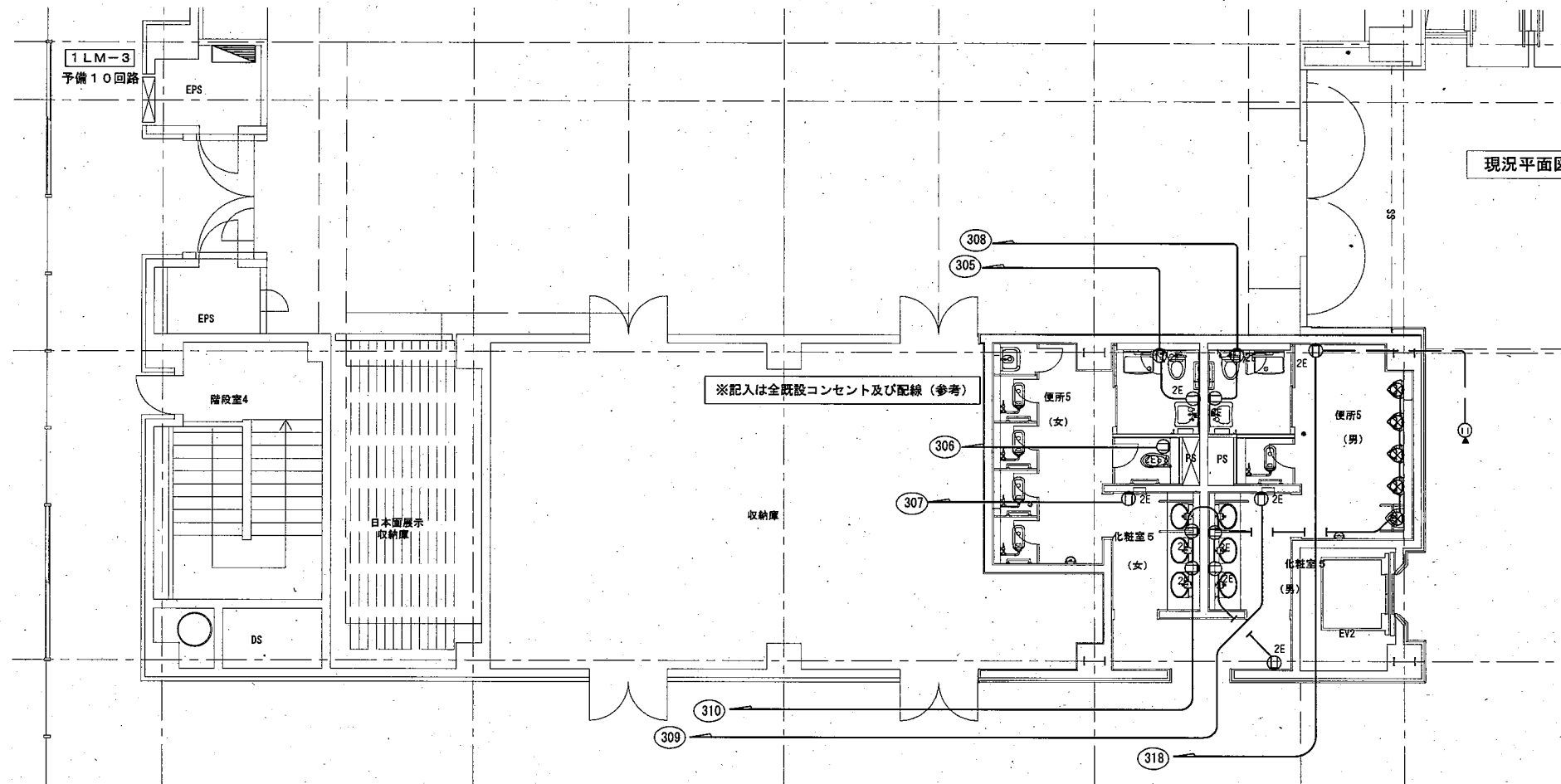
① 専用排水管	排水パッケージ1	排水心偏心量(可変)150~500mm
	排水パッケージ3	排水心偏心量(固定)100mm
	排水パッケージ4	排水心偏心量(固定)45mm
	排水パッケージ5	排水心偏心量(固定)0mm
	② 専用充填材 (専用モルタル)	
モルタル流れ止めシート材		
専用シール材		
専用パッキン材		

- ※専用排水管は1ブースに付き1本使用します。
現場状況により使用しない部材があります。
- ※和洋リモデル工法の専用部材の販売は対応できません。
認定施工店の施工対応となりますので、ご注意ください。

工事名 万葉文化館トイレ洋式化工事			図面番号 M - 1 4		
● 機械設備 リモデル工事参考図		図尺	1/200		承認印
		S=non 令和 3 年 9 月			
▲ 株式会社 辻建築設備研究所		二級建築士事務所 辻 邦昭 奈良県知事登録第2021 (ハ) 2302号			

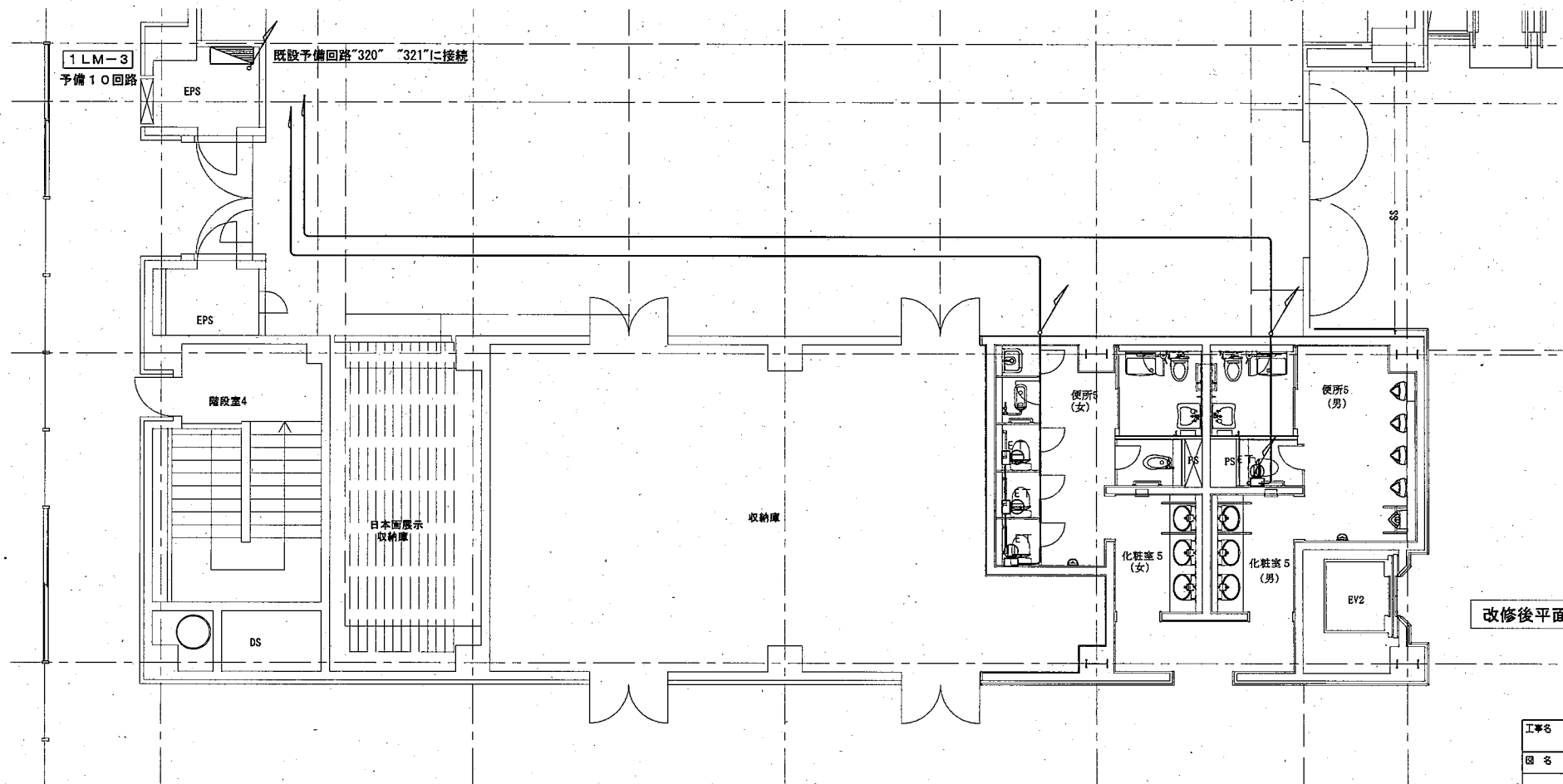
誘導・支援設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
	○工事種類	○音声誘導装置 ○インターホン ○トイレ等呼出装置 ○通話機能 ○受付呼出装置	(6.1.10.2) (6.1.10.3) (6.1.10.7) (6.1.10.8) (6.1.10.4)
	○テレビインターホン	親機には、子機カメラ角度調整機能付とする。	(6.1.10.4)
	テレビ	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
共同受信	○アンテナ	○UHF(全帯域用) ○BS・110° CS ○CS	(6.1.11.3)
	○アンテナマスト	○壁面取付形 ○自立形 ※溶融亜鉛めっき ○ステンレス	(6.1.11.3)
	○電界強度等	電界強度及び電質は、最工障が打上がったときに、アンテナ取付け予定位置、またはその周辺で測定する。(測定チャンネルは別図による(図面番号)) その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。	(6.2.19.3) (6.2.21.3)
	監視カメラ設備	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
駐車場管制設備	○カラーモニター	解像度は別図による(図面番号)	(6.1.13.3)
	○時刻同期装置	設置する	(6.1.13.5)
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
	防火・入退室管理設備	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
火災報知設備	○工事種類	○機械警備用配管 ○防火設備 ○入退室管理制御装置	
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
	○工事種類	○自動火災報知設備 ○自動閉鎖設備 ○非常警報設備 ○ガス漏れ火災警報設備	
	○運動制御器	○単独 ○自動火災報知装置受信機と一体 ○ダンパ(等)全数)復帰用の予備電源容量をもつこと。	(6.1.17.2)
通知設備	○自動閉鎖装置	○防火戸用(DC24V 0.6A以下 電磁式またはラッチ式) ○防煙ダンパ用(別途工事 瞬時通電式または電動式DC24V 0.6A以下、遠方復帰機構(電動式)DC24V 0.7A以下) ○防火シャッター用(別途工事 DC24V 0.6A以下)	(6.1.17.3)
	○非常警報装置	○非常放送装置 ○非常ベル(自動式サイレンを含む。)	(6.1.18.1)
	○ガス漏れ火災警報装置	○単独形 ○自動火災報知装置受信機と一体 ガスの種類、○都市ガス用 OLPガス用	(6.1.19.2)
	○R型受信機	○感知器等の増設や変更に伴う設定は監督員の指示による	(6.2.1.16)
中・小規模監視制御設備	○消火ポンプの始動	※開閉開閉放(易操作性 1号消火栓及び2号消火栓) ○消火栓箱内押ボタン(1号消火栓) ○発信機と運動(総合盤に始動表示灯を設ける)	
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
	○機器	○警報装置 ○簡易型監視制御装置 ○監視制御装置	
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
医療関係設備	○非接地電源用分電盤	キャビネット(※鋼板製) ○SUS製	(8.2.1.2)
	○ナースコール設備	○基本形ナースコール装置 ○携帯形ナースコール装置 ○情報表示形ナースコール装置 ○病床ユニット	(8.3.1.2) (8.3.1.3) (8.3.1.4) (8.3.1.5)
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設・改設 ○取り外し再取付	
	○ふ設方法	○地中埋設式 ○架空線式 埋設深さ 図面に記載なき場合は、6L(舗装がある場合は、舗装下面) -600mm以下とする	
構内配電	○区分開閉器	用途 ○架空引込用 ○地中引込用 構造 ○ステンレス製鋼板 内蔵機器 ○避雷器 ※制御電源用変圧器 S ○S鋼製装置 ※屋外形(ステンレス鋼板性収納箱・壁付き) ○引外し装置なし	(3.1.9.8)
	○自立開閉器 基礎	※別途工事 ○本工事 ○既設	
	○マンホール及びハンドホール	構造、寸法は ※標準図による。○別図による。(図面番号) 蓋の用途表示は ○奈良県高圧 ○奈良県電気 とする。 ケーブルが直接埋れない場合、金物は接地を省略してもよい。 ○ハンドホールにおいてケーブル支持材を設けない ○強電・弱電用セパレート	
	○余長	高圧ケーブルは、マンホール、ハンドホールまたはキュービクル内等の1ヶ所 で約3mの余長をとる。	
電線	○高圧ケーブル、がいし、端末処理	※一般用 ○耐塩用 ○重耐塩用	
	○避雷器	※脱外形 ○耐塩形	
	○装柱材	※一般用 ○耐塩形	
	○外灯	○一般用 ○景観照明用 基礎 ※本工事 ○別途 ○鋼製屋外灯ポールは溶融亜鉛めっきとし、指定色塗装とする。 ○接地は各ポール毎に施す。 照明用ポールに ○配線用遮断器(引き外し装置なし) を内蔵する。 ○カットアウトスイッチ(兼通ヒューズ)	(2.1.4.2)

誘導支援	テレビインターホン(観機)	床上～下端	1,300	
	テレビインターホン(呼機)	床上～呼出側	1,300	
	外部受付用インターホン(観機)	床上～下端	1,300	
	外部受付用インターホン(呼機)	床上～中心	1,000	
	外部受付用インターホン(呼出ボタン)	床上～中心	600以下	
	警付押しボタン(ひも付) (トイレ等呼出)	機器設置面～中心	400～550	
	警付押しボタン(トイレ等呼出)	床上～中心	400	
	警付消火器点検灯(トイレ等呼出)	床上～中心	1,100以下	
	警付通報点検灯(トイレ等呼出)	床上～中心	(天井高)×0.9	
	警付インターホン(一般)	床上～中心	1,300	
	警付アウトレット(一般)	床上～中心	1,300	
	警付アウトレット(和室)	床上～中心	150	
	テレビ共同受信	機器収納箱	天井下～上端	200
		変圧ユニット(一般)	床上～中心	300
変圧ユニット(和室)		床上～中心	150	
受信機・前受信機		床上～中心	800～1,500	
火災報知	機器収納箱	床上～中心	800～1,500	
	発信機	床上～中心	800～1,500	
	表示灯	床上～中心	2,300	
	ベル	床上～中心	2,100	
	液化石油ガス用防爆型	床上～上端	300	
	設備機材			
LED照明器具(屋内に限る)、照明制御装置				
可変電圧用インバータ装置				
断線(分電盤(家庭用を含む)、制御盤、キュービクル式配電盤、高圧スイッチギヤ(OH形)、高圧スイッチギヤ(PV形))				
高圧機器(高圧交流遮断器、高圧送電コンデンサ、高圧限流ヒューズ、高圧負荷開閉器、高圧変圧器(特定機器)、絶縁遮断器)				
絶縁架装装置(高圧回路の絶縁支持装置、低圧回路の絶縁架装装置)				
蓄電池(ベンチ形固定型鉛蓄電池、制御式鉛蓄電池、密着ニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池、シールニッケル・カドミウムアルカリ蓄電池)				
太陽光発電装置(パワーコンディショナ及び系統連系保護装置)				
監視カメラ装置				
中央監視制御装置				
サン防護デバイス(低圧用SPD)				
Ⅲ. 電気設備解体工事仕様				
1. 共通仕様				
1) 本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書」(平成24年版)(以下「解体工事仕様書」という。)による。ただし、解体工事共通仕様書に規定されている項目以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「建築改修標準仕様書」という。)による。				
2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面による。				
2. 特記仕様				
1) 項目及び特記事項は、●印のついたものを本工事に適用する。ただし●印のない場合は※印を適用する。				
2) 特記事項に記載の【 】内表示番号は、解体工事仕様書の編・章・節・項を示す。また、【 】内表示番号は、建築改修標準仕様書の編・章・節・項を示す。				
章	項目	特記事項		
一般事項	○石縛作業主任者	※適用する [9.1.2]		
	○特別管理産業廃棄物管理責任者	※適用する [9.1.2]		
特別管理産業廃棄物の処理等	○調査	※調査を行う(適用範囲：使用状況調査(製造所名、製造年、形式、種類、数量等)処分条件調査(収束連続業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設等)調査結果報告書の提出) ○微量PCBの測定を行う。(対象機器：トランス) [5.1.3]		
	○特別管理産業廃棄物の処分等	○特別管理産業廃棄物の種類 ○廃石膏等 ※アスベスト含有建材の除去等による ○PCBを含む樹脂類 ※保管(保管場所) ○PCB含有シーリング材 ※保管(保管場所) ○廃油 ○中間処理施設再生処理 ○焼却処分 ○廃酸・廃アルカリ ○製造業者又は専門業者(回収委託) ○再生処理 ○特殊な建築副産物の回収及び処分 [5.5.1] ○プロン ※登録回収業者(回収委託) ○再利用 ○破壊 ○ハロゲン ※登録回収業者(回収委託) ○再利用 ○保管 ○オゾン化式感知器 ※製造業者又は販売業者(回収委託) ○六フッ化硫黄(Sf6)ガス ※製造業者又はガス回収業者(回収委託) ○資源還元 ○再利用 ○破壊 ○特定化学物質 ○回収 ○処分 ○破壊		
	○特別管理産業廃棄物等リスト	○() ○()		
	環境配慮改修工事	○施工調査等	施工調査(アスベスト含有建材の有無) [9.1.1] ※監督員、工事監督者、関係者立会のもと調査を行う。 目視及び設計図書等による製造年等の確認 ○アスベスト含有建材の分析調査 分析方法 ○JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有測定方法」による ※「建材中の石綿含有率の分析方法」(平成18年8月21日発第08211002号、基安化発第08211001号及び平成20年2月6日基安化発第0208003号)による。 分析結果報告書の提出	
アスベスト含有保温材等の除去及び処分	除去方法 ※手ばらし(湿潤化) ○() 一時保管場所 除去方法及び汚染物等の処理 ※密封処理 ○セメント固化 処分 ○埋立処分 ○溶解固化 [9.1.1] [9.1.4]			
	○アスベスト含有成形板等の除去及び処分	除去方法 ※手ばらし(湿潤化) ○() 一時保管場所 処分 ○埋立処分 ○溶解固化 [9.1.1] [9.1.5]		
アスベスト	○処分場	※石膏ボード・化粧石膏ボード・エルボ保温材料、煙道断熱材は管理型処分場若くは焼却炉・陸揚げ炉もしくは安定型処分場に搬入すること		
	○手続き等	※所轄の労働基準監督署及び奈良県保健・環境総合センター(奈良市内においては奈良市保健・環境検査課)に必要な書類の届出を行うこと。また、その内容を周辺住民の見やすい場所に掲示すること。		
除灰後の仕上げ	○仕上げ表による。			
	○アスベスト含有材料リスト	○() ○()		
洋式化工事		図面番号	E - 02	
寸法	作図日	承認印		
令和3年9月				

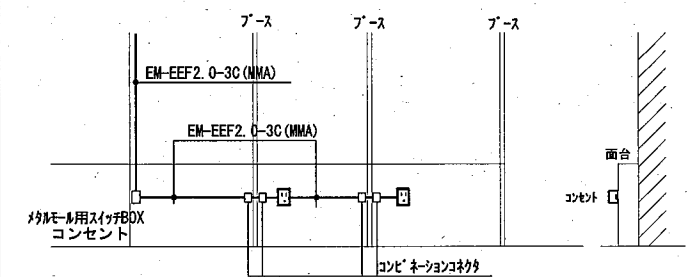
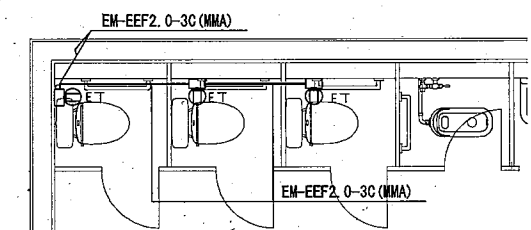


現況平面図 S=1/100

(注記) 特記無き配線は下記による事。	
—	EM-EEF 2.0mm - 3C (1C7-ス)
天井内配線でRC壁貫通は既設機械配管等の隙間を使用して配線の事	
ブース立下り配線及び面台下部の配線はタタム(A)にて配管保護の事	
○ ET	埋込コンセント 2P15A×1ET付 タタム用スイッチBOXに取付
□	タタム用スイッチBOX (カバープレート取付)



改修後平面図 S=1/100



平面詳細・展開図:S=1/50

(注記) 本工事は和式トイレを洋式トイレに改修の工事です。

工事名 万葉文化館トイレ洋式化工事			図面番号 E-03	
図名 電気設備 展示棟 1階平面詳細図	縮尺 S=1/100 (A2)	作成日 令和3年9月	承認印	
(現況・改修)				
株式会社 辻建築設備研究所			二級建築士事務所 辻 邦昭 奈良県知事登録第2021 (ハ) 2302号	

